

NDYS

Natural Disaster Youth Summit

防災世界子ども会議

2025 in KOBE

30

阪神・淡路大震災30年
1995.1.17

設立 20 周年記念 特別企画

阪神・淡路大震災から30年。

高校生からの提言

ユースがつなぐ「防災の未来」

30 Years after the Great Hanshin-Awaji Earthquake
Proposals from High School Students

2025.3.22 sat
14:00-16:30

参加費
無料

第1部 設立20周年を祝って

第2部 活動発表&ディスカッション

会場 神戸市立葺合高等学校
フェニックスホール(国際交流棟)

<会場とオンラインのハイブリッド開催>

言語: 英語・日本語(同時通訳なし)

主催: 防災世界子ども会議実行委員会

共催: iEARN (International Education & Resource Network)

後援: 文部科学省、兵庫県国際交流協会



参加方法:
ホームページから
お申込みください。

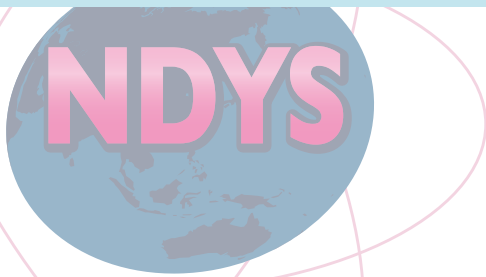
防災世界子ども会議 <https://ndys.jearn.jp>

問い合わせ: NDYS事務局 ndys@jearn.jp





NDYS2024 in KOBE: Kobe Municipal Fukiai HS International Exchange Bldg. CALL Classroom 2024.7.13



近年、気候変動によって自然災害が激甚化する中、地球規模での防災意識の醸成を図ることは、今までにない重要になっています。「防災世界子ども会議」は、10年後、今よりも災害に強いまちづくりを担う、未来の市民を育成することを目的に活動して来ました。この度、この活動の20周年に至り、これを記念する特別企画として「2025 in KOBE」を行います。神戸市の高校生が国内外に向けて活動発表・ディスカッションを行います。国際協働学習にフォーカスした国際防災教育を通して、変動するグローバル社会に貢献できる人材の育成を目指します。多くの方々のご支援が得られますことを願っています。

実行委員長・JEARN 理事 岡本 和子

淡路大震災から30年。高校生からの提言 ユースがつなぐ「防災の未来」

Program

第1部 設立20周年を祝って

これまでの20年への感謝とともに、これからの10年を見据えて、OB&OGが祝辞を届けます。
加藤 言人 明治大学政治経済学部専任講師
中野 元太 京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授

第2部 活動発表&ディスカッション

◆阪神・淡路大震災の経験・教訓を国内外の「次世代」へつなげよう！

- ①神戸市から「阪神・淡路大震災から30年。高校生からの提言」
神戸市立葺合高等学校国際科2年グローバルスタディーズの防災チーム
健康・人権・教育の観点から学んだことを提言として、生徒一人一人が英語で述べます。
- ②特別講演：「Build Back Better (より良い復興)」
iEARN OG ウィザー・プトゥリ・メララトゥナ (インドネシア・アチェより)
国際的視点による「Build Back Better (より良い復興)」どのような備えがあればなお良かったか
- ③世界のユースとのディスカッション
テーマ「これからの自然災害への対策：自助・共助の強化のためにユースに何ができるか」
NDYSによる国際協働で、今後の自然災害への対策として進めていきたい取り組みについて、意見を交わします。

◆震災30年大正琴ミニ・コンサート はづっ子カウボーイ、四日市市、三重県

- ◆世界5の国・地域の活動発表 テーマ「気候変動に立ち向かう持続可能な社会の創り手となる」
国際協働学習の成果を発表します。
マレーシア (SMK 高校、サルタンアブベイカースクール、パハンク)
台湾 (シャンイ小学校、プジ、チアイ)
ジョージア (アイアン-ジョージア、中高生、トビリシ)
オマーン (マイスクール高校、マスカット)
インド (セントマークス高校、ニューデリー)

◆『しあわせ運べるように』合唱

